



第13号 令和5年3月17日(金)発行

敦賀気比高等学校・同附属中学校 教育相談室

メールアドレス sodan@tsurugakehi.ed.jp



久しぶりに『知恵の輪』



ファミレスに入ると、レジの手前に『知恵の輪』がいくつか置いてあった。
「オーダーしたメニューが出されるまでの間に、ちょっといかがですか？」とのうたい文句に、
「おっ、そうだな。」と思い、その中の一つを手にとって席に着く。
何年ぶりだろう… 小学生の頃、一時期よくやったものだ。
しかし、今日手に取ってみると、小学生の頃とは明らかに気持ちが違う。
妙に落ちていて、考えていた。

まず最初に、「これは、必ずはずせる。」と思った。なぜならば、はずすために作られているのだから…。
次に、「切り口どうしが出合うはず。」と思った。なぜならば、輪は切り口からはずれるものだから…。
この2つのことを念頭に置いて、いろいろとやってみる。

(小学生の頃は、がむしゃらにガチャガチャやっていた気がする…)

5～6分ほどは経っていただろうか、「万策尽きたか…」と思い始めていた頃、スツとはずれた。
それは、一瞬の「あっ」という間の出来事であった。



はずれてみて、わかったこと。

それは、私が最初に描いていたイメージとは、全くの逆であったということ。

最初、私は、自分が描いたイメージに近づけようと試行錯誤した。でも、うまくいかなかった。

「いや、そんなことはない。必ず、外れるはず…」という信念で取り組んでいたのだが、
その中で、私は、「切り口どうしが出合う…」以外は、当然のごとく最初から除外していたのである。

行き詰まって、その「切り口どうしが出合う…」ではなく、自分にとっての「まさか…」をやってみた。

つまり、自分が決めつけていたことの逆である、「切り口どうしではない…」をやってみた。

すると、一瞬でフツとはずれた。「えっ？」と、驚くほどスマートにはずれた。

万策は尽きていなかった。

自分の先入観や思い込みが、物事を理解する上で、時には障壁となることを、また、ここで学んだ。
日々、周囲の出来事や自分自身に、勝手な思い込みで制約をかけている事は多いのかも知れない。
そういう事は、わからなければ超難題だが、わかってしまえば超簡単というものが意外と多いのかも…
人それぞれ、様々なことに先入観を持ってしまうことがあると思われるが、
だからこそ、周囲の情報に敏感になり、自分を見つめて、思い込みを解いていく作業が大切になってくる。

「気づき」の機会が多いほど、人として大きく成長していける気がする…



スクールカウンセリングのご案内

4月は、下記の日程でスクールカウンセリングを行います。
気持ちが少し疲れて、誰かと話をしてみたいと思う人は、担任の先生、
あるいは教育相談室まで申し出てください。

第1回 4月11日(火) 第2回 4月18日(火) 第3回 4月25日(火)

※ スクールカウンセラーの先生のご都合で、日程が変更になることがあります。
あらかじめご了承ください。

